

頼れる

## 在宅療養支援診療所



### 院長 上田 聰

うえだ・そう ●山形大学医学部卒。自治医科大学循環器内科、柳原記念病院、千葉県循環器病センター医長などを経て、2006年より現職。

診療科目：循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、アレルギー科、内科

診療時間：月・火・木・金 9:00～13:00／14:00～18:00  
水・土 9:00～13:00

休診日：水午後・土午後・日・祝

〒272-0835 千葉県市川市中国分2-11-6

TEL. 047-372-1141

<http://www.uedaiin.or.jp/>

人生の最期をどこで過ごすかは非常に重要です。自宅にはその人の生きてきた証、すなわち思い出の「さいご」を自宅で過ごすのっていいよね……」

人生のさいごをどう過ごすかは人ホーム「我が家」など、どんな状況や体調にも対応できるよう幅広いサポート体制を備えています。

**上田医院**  
**(在宅支援診療所指定)の強み**

#### ①素早い対応

一人で生活することに不安を感じる、退院して自宅に帰りたいなどの相談も含め、電話一本で医療から介護まで即日対応出来ます。自社内で連携が取れる当院ならでは

#### ②充実したサポート体制

自宅ではいろいろな予期せぬことも起ります。当院では主治医と24時間連絡が取れ、何かあつたら看護師が駆けつけます。デイケア(通

スタッフも充実しています)はの魅力です。ケアマネージャー8人、訪問看護師20人、訪問リハビリ(P-T5人・OT4人・ST一人)など、

だけに救急車の音を聞き、病院では病院で亡くなるという話もよく聞きます。しかし聽覚は一番最後まで残る感覺といわれています。それ

は自慢の品々があり、大切な人がいて、自慢の品々があり、大切な人がいて、そして馴染んだ匂いや音が詰まっています。白い病室ではなく、思い出のたくさん詰まった住み慣れた自宅で、さいごまで、自分の人生をゆっくりと振り返って過ごしてもらいたいと思っています。生きてきた



往診中も会話しながら患者の状態を診る

# 人生のさいごをどう過ごすかは その人の生き方を象徴する

医療法人社団八心会

**上田医院**

※2006年～2016年の間